

住み慣れた自宅で、最期まで ～在宅医療という選択～



問い合わせ 介護高齢福祉課（市庁舎1階、☎65・4145）

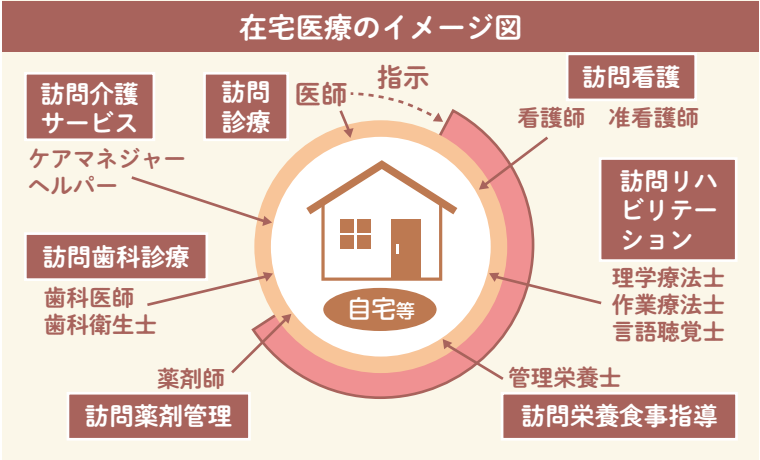
市ホームページID.1011282

在宅医療とは？

在宅医療とは、通院が難しくなった人が、退院後に住み慣れた自宅などで生活を続けながら医療や介護を受けることです。

医師の指示のもと、看護師や薬剤師、リハビリ職などの専門職が連携して訪問し、必要な診療や支援を行います。

対象は年齢を問わず、退院後の療養が必要な人や、日常生活で継続的な医療サポートを必要とする人です。



在宅医療を選択肢の一つとして考えてみませんか

在宅医療を利用中でも、症状や治療計画に応じて外来受診をしたり、必要に応じて入院治療を受けることもできます。

「住み慣れた場所で自分らしく過ごしたい」「家族と一緒に過ごす時間を大切にしたい」などの希望を実現するために、主治医やケアマネジャーなどと相談しながら、在宅医療を選択肢の一つとして考えてみませんか。

自宅で受けられる主なサービス			
訪問診療	医師が、通院が困難な人の自宅などで診療を行います。	訪問栄養食事指導	管理栄養士が、病状や食事の状況、栄養状態や生活習慣に適した食事などの指導を行います。
訪問看護	看護師などが、安心した生活を営めるよう処置や療養中の世話などを行います。	訪問薬剤管理	薬剤師が、薬の飲み方や飲み合わせなどの確認・管理・説明を行います。
訪問リハ	理学療法士などが、日常生活に必要な動作を行えるように、訓練や家屋の適切な改造の指導などを行います。	訪問歯科診療	歯科医師・衛生士が、歯の治療や入れ歯の調整などを通じて食事をかんで飲み込めるよう支援を行います。
訪問介護	ヘルパーなどが入浴介助や掃除、買い物代行などを行います。		

自分らしい生活を支えてくれる
いろいろなサービスがあるんだね！



在宅医療を経験した家族・現場の人にお話を伺いました！

最期まで、自分らしく過ごしました

妻 菅野 美代子さん



夫・菅野範一さんと美代子さん

胆管がんが再発し、夫は余命3カ月と告げられました。病状は急激に悪化し、通院もやつの状態でした。そんなとき、医師が「自宅へ伺いますよ」と声を掛けてくださり、在宅医療を始めました。

ケアマネジャーは介護用品をすぐに手配してくれ、医療面では訪問看護師が自宅での輸血などにも対応してくださいました。夜中に困ったときも、すぐに駆け付けてくれて心強かったです。在宅医療は夫だけでなく、私自身も支えられていると感じました。

良かったことは、亡くなる日まで寄り添えたことです。これまでお世話になった方々に夫本人からお礼を伝えることもできました。最期は家族で見送り、夫が望んだ通り自宅で自分らしく過ごせたと思います。



範一さんと妹3人のひととき

本人と家族を連携してサポートします



居宅介護支援事業所はるか
ケアマネジャー 山本さん

本人の「こうしたい」という思いや家族の状況、病状の経過に合わせて多職種と連携し、訪問看護やヘルパーなどの介護サービスを調整します。また、在宅医療に不安があるときも、制度のことをお伝えするだけでなく、本人や家族の立場に寄り添って、丁寧にお話を伺うことを大切にしています。

たくさんの支援者が連携して支えますので、ひとりでは抱え込まず、気軽に相談してください。

「考えの軸」を持ちましょう



協会病院 腫瘍内科
杉山先生

在宅医療は、入院という非日常ではなく、普段の暮らしの中で治療や療養が続けられることが魅力です。緩和ケアも病院と同様に受けられ、医師や看護師などが連携して体調変化に対応し、必要に応じて入院の調整も行います。

一方で、状態が変化したときには、本人や家族が判断に迷うこともあります。そのため、自宅での療養を支えるには、本人や家族が迷ったときに立ち返れる「考えの軸」が必要です。「もしものときどうしたいか」「誰に相談するか」を共有しておく。その軸を整えるのが「人生会議」です。

もっと詳しく知りたい人へ

◆ 在宅医療の相談先

- ・入院・通院中の人→かかりつけの医療機関のスタッフ（主治医・看護師など）
- ・介護認定を受けている人→ケアマネジャー
- ・それ以外の65歳以上の人→お住いの地域の地域包括支援センター

◆ 在宅医療ははじめの一步

在宅医療について知ってもらうために、在宅医療・介護に携わる専門職が作成したリーフレット「在宅医療ははじめの一步」があります。介護高齢福祉課でも配布していますので、ご覧ください。



▲リーフレット

もしものときの「人生会議」

人生会議とは、もしものときのために、自分が望む医療やケアについて前もって考え、家族や医療スタッフ・ケアマネジャーと繰り返し話し合い、共有する取り組みのことです。まずは、自分の考えを整理するところから始めてみましょう。

自分の考えを整理するポイント

- ☑ 生活の中で大切にしていることは何ですか？
- ☑ 病気やけがで意思表示できなくなったとき、どのような治療を受けたいですか？
- ☑ 自分の代わりに判断してほしい人は誰ですか？